

豊川ごみ減量かわら版

資源回収として排出する古着・タオル類は各家庭でしばらく保管願います

現在、豊川市内で資源として回収した古着・タオル類の大半は、マレーシア、フィリピンなど主に東南アジアに輸出し、衣類などとしてリサイクルしています。

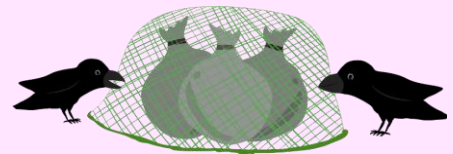
しかし、昨今の新型コロナウイルスの影響により流通が滞り、海外への輸出が喃々な状況となっています。そのため、回収した古着・タオル類は国内で保管することになりますが、その保管施設も飽和状態にあります。

この状況を市民の皆様にご理解いただき、事態が収束するまで当分の間、古着・タオル類は各家庭で保管の協力をお願いします。

市民の皆様には、ご不便ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

カラスにごみを荒らされないための対策

カラスによるごみステーションの散乱被害を未然に防ぐためには、ごみステーションを利用されるすべての方々の協力が不可欠です。まちの美観を保つためにも、市全体で協力し、ごみの出し方を工夫しましょう。



1. エサとなる生ごみを減らしましょう

ごみステーションにおけるカラスのエサとなるものを無くすることが一番重要です。カラスは食べ残し等の生ごみが大好物のため、食材の買い過ぎや作り過ぎをできるだけ控え、食べ残しをしないようにしましょう。

2. 生ごみが見えないようにしましょう

カラスは嗅覚がほとんど無い代わりに、視覚が非常に発達しており、目で見てエサを探しています。生ごみを可燃ごみで出す際は、水をしっかり切って新聞紙や紙袋で包んでからごみ袋へ入れて中身が見えないようにしましょう。水を切ることでごみのおいを抑えることもできます。

3. 決められた収集日・時間に出しましょう

決められた日時以外にごみが出されると、カラスに狙われやすくなります。必ず収集日の当日(日の出から朝8時30分まで)に出してください。

4. カラスよけネットを正しく利用しましょう

ごみ袋がネットからはみ出していたり、隙間が空いていると効果が十分に得られません。ごみ袋をネットで包み込むように出したり、ネットの縁におもしをするなどの工夫をしましょう。